2019 年度淀川区運営方針（素案）から（案）への修正一覧

○区政会議委員の意見を参考に追加・修正したもの

二重線部分＝削除、一重線部分＝追加

	修正項目	修正内容	
1	様式 2 1-1-1 自助の取組	<p><追加後></p> <p>【継続的取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災講座の開催(40 回) ・ 電子媒体 (Twitter、Facebook 等) による周知 (100 回) ・ 区民の集まる場所 (乳幼児健診、PTAの会合、区民まつり等) における周知 (90 回) ・ <u>購買意欲が高まる備蓄啓発ポスターを作成し、コンビニエンスストアやスーパー等に掲出 (100 枚)</u> 	
		<p><修正前></p> <p>【重点的取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>子育て世帯を対象にした新規防災イベントの実施</u> 	<p><修正後></p> <p>【重点的取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>若年層を中心とした新規防災イベントの実施</u>
2	様式 2 2-1 学校教育支援	<p><追加後></p> <p>○戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>児童生徒にかかる各種データを分析し、適時適切な取組のスクラップアンドビルドを行う。</u> ・ 区内小中学校と連携し、放課後の学校施設を活用した取組を展開する。 ・ 授業のより一層の充実を支援する取組を展開する。 ・ 学校の自律的な取組を支援し、学力・体力の基本となる睡眠など生活習慣の改善支援を行う。 ・ <u>教育支援にかかる取組を広報誌やホームページ等で周知し、区内全体での関心を高める。</u> ・ 生活困窮世帯の小中学生にきめ細かい学習指導、体験学習、キャリア教育を実施する。 	
3	様式 2 2-1-1 課外学習の推進 (ヨドジュク)・(小学生補習充実事業)	<p><追加後></p> <p>【重点的取組】</p> <p>事業効果をより浸透させていくため、参加する児童数・生徒数の拡大を図る。</p> <p>〔ヨドジュク〕</p> <p>2018年度から2020年度まで同事業者が継続実施し、課外授業も2020年度まで連続実施する。<u>体験会の実施や各校を通じて働きかけを行うなど、区内全中学校の新入生への周知を強化する。</u></p> <p>〔小学生補習充実事業〕</p> <p>実施する想定規模を児童 300 人 (10 校) から児童 360 人 (11 校) に拡大。<u>未実施校へのヒアリングを継続して行う。</u></p>	
4	様式 2 2-2-3 子育ての負担感軽減	<p><追加後></p> <p>【重点的取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て講座「ハッピールーム」特別編 (年 2 回以上) において、保護者のニーズにあった講座を開催し、子育ての負担感を軽減し、児童虐待の予防・早期発見を行う。 	
<p>※その他、誤字の修正、「前年度までの実績」欄の時点修正を行った。「プロセス (過程) 指標等」についての修正は別表に記載。</p>			

プロセス（過程）指標等に関する修正一覧

二重線部分＝削除、一重線部分＝追加

○区政会議委員の意見を参考にプロセス（過程）指標等を修正した項目

	修正項目	修正内容	
	様式 2 1-1-3 公助の取組	(修正前) ・新たな災害時の情報発信手法の利用登録者数： <u>3000人</u> 【撤退・再構築基準】 ・上記登録者数が <u>500人</u> 以下の場合、取組を再構築する。	(修正後) ・新たな災害時の情報発信手法の利用登録者数： <u>2019年3月末時点の淀川区役所 Twitter フォロワー数</u> <u>（参考：2018年12月現在 3720人）</u> 【撤退・再構築基準】 ・上記登録者数が <u>2019年3月末時点の淀川区役所 Facebook フォロワー数</u> （参考：2018年12月現在 <u>1312人</u> ）以下の場合、取組を再構築する。

○アンケート等の実施により目標数値が定まった項目

項番	修正項目	修正後	参考
1	様式 2 1-3-1 地域における見守り支援体制の構築	・地域福祉活動に関わる方々のうち、各地域の実情に応じた見守りや相談支援体制の構築に対して肯定的に感じている方の割合 <u>75%</u> 以上 【撤退・再構築基準】 ・プロセス指標の目標が <u>60%</u> を下回る場合、取組を再構築する。	平成 30 年度に実施した地域福祉活動に関わる方々が参加するイベントでのアンケート結果から目標値を設定した。 ・見守り活動や相談できる体制が整いつつあると感じている方の割合：68.0%
2	様式 2 4-1-2 区政会議の効果的な運営	区政会議において、各委員からの意見や要望、評価について、 ・十分に区役所や委員との間で意見交換が行われていると感じている区政会議の委員の割合 <u>90%</u> 以上 ・適切なフィードバックが行われたと感じる区政会議の委員の割合 <u>90%</u> 以上 【撤退・再構築基準】 上記目標が●%（2018年度の24区平均）未満の場合、取組を再構築する。	区政会議委員を対象とした平成 30 年度区政会議に関するアンケート結果から目標値を設定した。 ・十分に区役所や委員との間で意見交換が行われていると感じている区政会議委員の割合：77.3% ・適切なフィードバックが行われたと感じる区政会議の委員の割合：72.7% 【撤退・再構築基準】●%は、2018年度の24区平均値確定後に記入予定